



第15回

物語を語ろう!

～ ed を付けない過去形～

学習のポイント

- ed を付けないで以前の動きを表す語が使える
- 以前の動きを表す語を使って物語が語れる

英語監修・執筆 鳥飼慎一郎

ed を付けないで以前の動きを表す語が使える 以前の動きを表す語を使って物語が語れる

■コミュニケーション

A hundred ten years ago there was a little girl in a little town.

この文の意味は、「110年前、小さな町に小さな女の子がいました」という意味です。昔話などでよく、**Once upon a time there was** … (昔々あるところに) などという語り口で始まることが多いのですが、これも同じように昔話などの始まりでよく使われる表現です。

この **there** で始まる文は、人がいる、物がある、というような存在を初めに表すときによく使われる表現です。例えば、自分の町にあった古いお寺について話をしようとしているとき、**There was an old temple in my town.** (私の町には古いお寺がありました) というように話を始めればいいでしょう。あるいは、学校紹介で「私たちの学校にはたくさんのヒマワリが植わっています」と話し始めるのであれば、**There are many sunflowers in our school.** と言えばいいでしょう。このように、**there** で始まる文は、あるものを新しく紹介するときによく使われます。

■単語や表現

今回は、動きを表す語をさらにいくつか学び、前回学習した **ed** を付けて以前の動きを表す用法を引き続き学習してゆきます。新たに加わる語とその代表的な意味を以下に記しておきます。

dance	→	danced	ダンスをした
want	→	wanted	欲しかった
name	→	named	名前を付けた
climb	→	climbed	(山などに) 登った

is は、今のことを表すときに使いますが、以前のことを表すときには **was** を使うことも既に学習しました。

is → **was** ～であった

今回の大事な学習事項は、動きを表す語自体の形を変えて、以前のことを表す語です。以下にまとめたものは、形が変わるといっても、よく見ると1文字が変わるものや、ある特定の部分が変わるもの、あるいはどうしてもここまで変わるのかわからないくらい変わるものもあります。注意してどこがどう変わるのかを覚え、どんどんと使ってみましょう。使っては間違え、それでもまた使ううちに正しく使えるようになってきます。

make → made 作った

We made so many things. (私たちはたくさんの物を作った)

go → went (どこどこへ) 行った

Ryo went to the post office. (亮は郵便局に行きました)

become → became ~になった

Hina became the first woman city mayor. (日梨は女性初の市長になった)

come → came 来た came back で、戻って来た

Naomi came back from New York last week.

(直美は先週ニューヨークから帰国した)

bring → brought 持ってきた、つれてきた

Philip brought his own food and drink from the table.

(フィリップはテーブルから自分の食べ物や飲み物を持ってきた)

see → saw 見た

We saw a huge bear in the woods. (私たちは巨大なクマを森で見ました)

■英語のきまり

前回の学習で、動きを表す語に「**ed** を付けて以前のことを表している文」を、質問の文に変えるときは、文の先頭に **Did** を付け、動きを表す語から **ed** を取って元の形にもどして質問の文を作りました。そして、打ち消しの文に変えるときは、**did not** を動きを表す語の前に入れ、動きを表す語から **ed** を取って作りました。

Philip climbed Mt. Fuji last year. → Did Philip climb Mt. Fuji last year?

→ No. Philip did not climb Mt. Fuji last year.

今回の学習のポイントの「**ed** を付けずに以前の動きを表す語」の場合も、質問の文や打ち消しの文の作り方は基本的には同じです。注意したいのは、**ed** を使った動作を表す語の場合は、単にその **ed** を取るだけで済みましたが、今回学習する動作を表す語そのものの形を変えている場合は、しっかりと元の形を覚えておいて、その形にもどす必要があります。

Naomi went to Broadway 10 years ago.

→ Did Naomi go to Broadway 10 years ago?

→ No. Naomi did not go to Broadway 10 years ago.

「行く」という意味の **go** の形を **went** に変えて、以前の動きを表します。その **went** を質問や打ち消しの文では、再び **go** という元の形にもどして使っています。

column

アルファベットと発音 ⑮

Z z

ズイーと発音します。イギリス英語では、ゼットと発音することもあります。アルファベットシリーズ最後の文字です。

zoo とは「動物園」のことです。正確には、zoological garden と言います。zoological というのは、「動物学の」という意味です。garden は「庭」という意味ですが、ここではもっと大きく「庭園」や「公園」なども指す言葉として使われています。ちなみに、「植物園」は、botanical garden と言います。botanical とは、「植物学の」という意味です。

* * *

zero は、英語では、ゼロではなくズイロウと発音します。この言葉は元々はアラビア語から来た語で、「何もない、空」という意味でした。ゼロそのものの概念はインドで発達したといわれています。

